



2008年ノーベル化学賞の解説 いま話題の“緑のクラゲ”について

サイエンスカフェは、科学者などの専門家と一般の市民が飲み物を片手に、気軽に科学などの話題について語り合う新しいコミュニケーションの場です

2008年12月、下村脩博士がノーベル化学賞を受賞しました。博士は47年前(1962年)にオワンクラゲの緑色に光る蛍光タンパク質GFPを世界で初めて発見し、単離することに成功しました。この蛍光タンパク質GFPを使うと、生きた細胞の中で起こっている様々な出来事を、直接目で見て観察することができます。そのため、蛍光タンパク質は、現代の生命科学では必要不可欠な「道具」として幅広く活用されています。しかし、その有用性が認識されるようになったのは最近15年ほどなのです。つまり、GFP発見から30年もの間、この光るタンパク質の研究はほとんど評価されなかったのです。

今回は、安達卓さんをゲストにむかえ、ノーベル化学賞・下村脩博士の研究内容を、博士に関する報道記事もありませながら、わかりやすく解説していただきます。科学研究の試練と発見の醍醐味をお楽しみ下さい。

ゲスト：安達卓さん (神戸大学大学院理学研究科)

日時：2009年2月7日(土) 14:00から16:00

場所：神戸酒心館ホール[豊明蔵]
(神戸市東灘区御影塚町1-8-17)
(TEL 078-841-1121)



アクセス：阪神石屋川駅より徒歩8分
阪急六甲駅または JR 六甲道より
市バス36系統(阪神御影方面)
徳井下車徒歩5分

駐車場あり

参加費：400円 (珈琲または紅茶 + パウンドケーキ代として)
*追加料金できき酒もお楽しみいただけます

定員：50名程度 (先着順です)
定員になり次第しめらせていただきます



神戸酒心館

参加申し込み・お問い合わせ：神戸大学サイエンスショップ

メール：scicafe@radix.h.kobe-u.ac.jp

TEL・FAX：078(803)7979

主催：サイエンスカフェ神戸
(<http://scicafe.h.kobe-u.ac.jp/>)
神戸大学サイエンスショップ
(<http://www.h.kobe-u.ac.jp/2114>)

共催：株式会社 神戸酒心館

